

近代③「明治時代初期」

文明開化と対外関係 **C**

🕒 7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1868年、五箇条の御誓文が出され、新政府の方針が示された。天皇を中心とする政治のしくみがつくられ、近代国家をめざす政治の改革が行われた。欧米へ使節団を派遣したり、中国や あ 朝鮮と条約を結んだりして積極的に外交を進め、 い 近代国家として国境も確定された。

(1) 下線あに関して述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本と朝鮮を対等な立場として日朝修好条規を結んだ。
 イ 日本が朝鮮に対して貢ぎ物みつをおくことを日朝修好条規に定めた。
 ウ 日朝修好条規のなかで、不平等な内容を日本が朝鮮に押しつけた。
 エ 日朝修好条規で、千島列島と樺太について国境が定められた。

[1]

(2) 下線いに関して、次の文中のA・Bにあてはまる語句の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

政府は (A) の漂流民が殺害された事件を理由に (B) へ出兵し、 (A) が日本の領土の一部であることを主張した。

- ア A = 台湾, B = 琉球 イ A = 台湾, B = 朝鮮
 ウ A = 琉球, B = 朝鮮 エ A = 琉球, B = 台湾

[2]

2. 明治時代初期の対外政策について、次の問いに答えなさい。

(1) 右の図は、1871年に欧米に派遣された使節団が記念撮影さつえいした写真を表している。この写真の中央に座っている、使節団を代表する人物の名を答えなさい。



[3]

(2) 1871年に結ばれた日清修好条規と、1876年に結ばれた日朝修好条規について述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本は、中国とも朝鮮とも対等な関係として条約を結んだ。
 イ 日本は、中国には領事裁判権など不平等な内容をおしつけ、朝鮮とは対等な条約を結んだ。
 ウ 日本は、朝鮮には領事裁判権など不平等な内容をおしつけ、中国とは対等な条約を結んだ。
 エ 日本は、中国にも朝鮮にも領事裁判権など不平等な内容をおしつけた。

[4]

次ページにつづく▶▶▶

- (3) 次の文章中の（ ）に共通してあてはまる語句を答えなさい。

江戸時代、（ ）王国は薩摩藩さつまに支配されながら、中国にも従う形をとっていた。明治政府は領有権を明らかにするため、1872年に（ ）藩を置き、1879年には軍隊を派遣して反対意見をおさえ、沖縄県を置いた。このできごとは（ ）処分といわれる。

[5]

3. 文明開化に関して、右の図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 右の図中に見られるものを、次からすべて選び、記号で答えなさい。

- | | |
|--------|-------------|
| ア 蒸気船 | イ れんがづくりの洋館 |
| ウ ガス灯 | エ 新聞を読む人 |
| オ 人力車 | カ 蒸気機関車 |
| キ 乗合馬車 | ク 公衆電話で話す人 |



[6]

- (2) 明治初期の変化について述べた文として不適當なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 文明開化と呼ばれる変化は、おもに東京や横浜、神戸などで見られた。
- イ 役所や工場などでは、新しく太陰曆たいいんれきが使われるようになった。
- ウ 政府が、西洋の技術や制度を取り入れた影響で、民衆も西洋風の生活様式を取り入れていった。
- エ 福沢諭吉ふくざわゆきちや中江兆民なかえちやうみんらによって、西洋の近代思想が紹介され、広まっていった。

[7]